

インドのフェスティバル・シーズン ～2017年は企業業績への好影響を期待～

2017年11月20日

お伝えしたいポイント

- インドは夏から秋にかけてフェスティバル・シーズン
- フェスティバル・シーズンは経済活動にとって重要
- 2017年のフェスティバル・シーズン商戦は好調 企業業績への好影響を期待

<インドは夏から秋にかけてフェスティバル・シーズン>

インドでは夏から秋にかけてGanesh Chaturthi（ガネーシャ祭）、Dussehra（ダシエラ祭）、Diwali（ディワリ）のヒンドゥー教の大きな祭典があり、この時期はフェスティバル・シーズンと呼ばれています。祭日はヒンドゥー暦に基づいているため、西暦における日程は毎年変わりますが、8月から11月頃に行われます。

過去5年の祭日の日付	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
Ganesh Chaturthi	9月9日	8月29日	9月17日	9月5日	8月25日
Dussehra	10月14日	10月4日	10月22日	10月11日	9月30日
Diwali	11月3日	10月23日	11月11日	10月30日	10月19日

（出所）ブルームバーグ

お祝いの習慣は地域や家族によって異なりますが、多くの家庭では神様が祭られ、各家庭の屋内外に飾り付けがなされます。家族や親類縁者が集まりお互いにプレゼントを贈ります。またインドではヒンドゥー暦における縁起のよい吉日に高額商品（乗用車、住宅、金など）を購入する伝統があり、秋のフェスティバル・シーズンにはそれらの吉日が含まれています。



フェスティバル・シーズンには街の中も色とりどりの電飾でライトアップされます。

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

大和投資信託

Daiwa Asset Management



家の外、部屋の中も飾り付け。お祭り気分を盛り上げます。



神様をまつり、親類縁者や友人を招いてのホームパーティーの飾り付け。

※写真は大和投資信託撮影

(注) ガネーシャ祭：ガネーシャ神の誕生を祝う祭日

ダシエラ祭：インドの叙事詩『ラーマーヤナ』の中で善の悪への勝利を祝う祭日

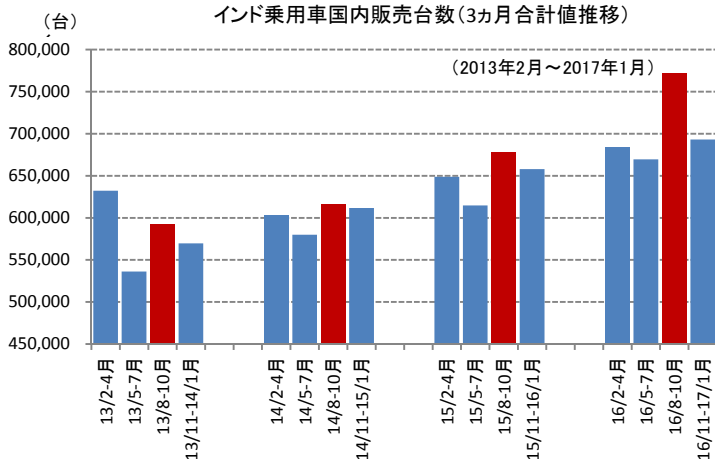
ディワリ：ヒन्दウー教の新年

<フェスティバル・シーズンは経済活動にとって重要>

フェスティバル・シーズンでは、多くのインド企業、特に中小企業が従業員に対して昇給や賞与を支給します。また農家はディワリ前に雨期の収穫を終え、農作物を売却して収入を得た時期でもあります。このように、人々は懐が暖かくなっているところでフェスティバル・シーズンを迎えます。プレゼントや高額商品などの購買意欲が高まることに加え、小売店側も集客を見込んだバーゲンセールを開催するなどフェスティバル・シーズンは一年の中でも特に個人消費が大きく伸びます。例えば、乗用車と二輪車の国内販売台数をみると、8～10月の販売は他の3カ月よりも多い傾向がうかがえます。

※1ページ目の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。

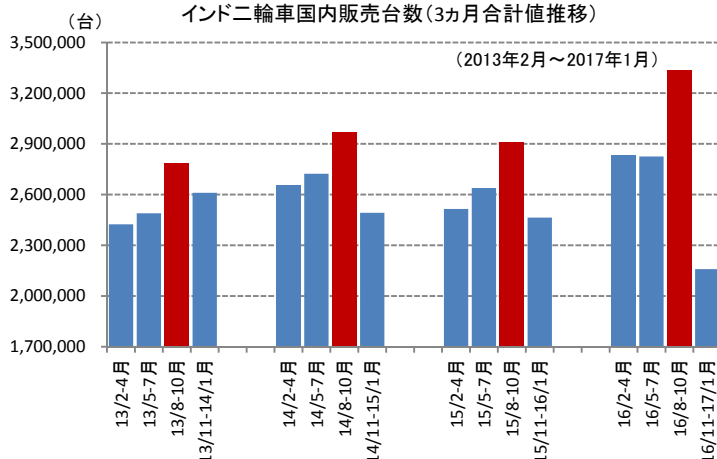
インド乗用車国内販売台数(3ヵ月合計値推移)



(注)乗用車にはユーティリティー・ビークルを含む

(出所 プルームバーグ)

インド二輪車国内販売台数(3ヵ月合計値推移)



(注)二輪車はモーターサイクルの台数のみでスクーター等は含まない

(出所 プルームバーグ)

<2017年のフェスティバル・シーズン商戦は好調 企業業績への好影響を期待>

2017年のフェスティバル・シーズン商戦は、良好な所得環境を背景に好調に推移した模様です。公務員の給与引き上げが実施されたことや、金利低下を背景にローン支払い負担が軽減されたことなどを受けて可処分所得が増加した世帯も多くあったと考えられます。農村では雨期の農作物の収穫が過去5年平均を上回るとの見通しが発表されており、収穫も順調に行われたと思われます。良好な乗用車販売が示すように、上場企業の経営陣の発言からもフェスティバル・シーズンの販売が好調だったことが示唆されています。

GST（物品・サービス税）導入の影響などを受けて2017年4-6月期の経済成長率は鈍化しましたが、インド株式市場は政府による国営銀行への資本注入と道路建設大型インフラ（社会基盤）投資計画の発表を受けて堅調に推移しています。2017年のフェスティバル・シーズン商戦が企業業績に好影響をもたらしたことが確認できれば、投資家の注目はインド企業の好調な業績に向かい、インド株式市場にとっても追い風になることが予想されます。

以上

※1ページ目の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。